

アカゲラ通信



レストハウス 4月27日オープン

旭山記念公園レストハウスは、今年から装いも新たに「森のアリス」として2019年4月27日にオープンしました。ホットドッグ(右写真)、焼きそばなど軽食と種類豊富なソフトクリーム、コーヒーなどをご用意して、皆様のご利用をお待ちしております。噴水も4月27日運転開始、第2駐車場もオープンしています。



その年の「初見」を記録してゆこう

春になると、花が咲き、夏鳥が渡って来て、虫たちも動き始めます。

春の楽しみは、その年の初めてを見つけること=「初見」ですが、見つけた日を手帳やパソコンに記録していくと、次の年からカレンダーを見て「そろそろ〇〇が見られる頃だな」と楽しみが増えます。

今回は、この春、まだ平成だった2019年3月4月に記録された今年の「初見」を紹介します。

●主な夏鳥

- ★キジバト:3月24日 ★ホオジロ:3月25日 ★ルリビタキ:4月10日
- ★キセキレイ:4月11日 ★ウグイス:4月16日 ★アオジ:4月17日
- ★ヤブサメ(写真右):4月18日 ★メジロ:4月19日
- ★クロツグミ:4月24日 ★センダイムシクイ:4月28日
- ★オオルリ:5月1日 ★キビタキ:5月5日 ★コルリ:5月5日



●その他脊椎動物

- ★ニホンカナヘビ(写真下左):4月18日 ★アオダイショウ(写真下左から2枚目):4月30日
- ★エゾサンショウウオ:卵塊初見4月3日、産卵のための成体集結4月10日
- ★エゾアカガエル(写真下右から2枚目):卵塊初見4月14日、産卵のための成体集結4月18日



●昆虫、虫

- ★エルタテハ(蝶):4月14日 ★アカマルハナバチ(蜂):4月16日
- ★エゾマイマイ(かたつむり):4月16日 ★アメンボ:4月22日
- ★エゾスジグロシロチョウ(写真上右):4月29日 ★ルリシジミ(蝶):5月2日



●花

- ★ナニワズ:4月3日 ★エゾエンゴサク:4月18日 ★エンレイソウ:4月18日
 - ★セイヨウタンポポ:4月20日 ★キタコブシ:4月22日(写真右上) ★エゾヤマザクラ:4月25日
- 毎年記録していくと、今年は遅い、3年前は早かった、と年による違いも見えてきて興味深いです。

2019年、平成から令和にかけての旭山の桜

今年の桜は4月24日開花。
平成の終わりに咲き、
令和のはじめまで
桜を愛でることができました。



旭山野鳥メモ ③オオルリ

①オオルリ Blue-and-White Flycatcher *Cyanoptila cyanomelana* スズメ目ヒタキ科

スズメより少し大きい夏鳥。北海道は4月下旬渡来、東南アジアで越冬。

頭から背にかけて青、目から胸まで黒、白い腹、メリハリの利いた色合い。

雌は全体的に黄色みの強い茶褐色、オオルリは雌も囁りをする。

先月の鳥アオジは緑だが、"blue"を表す青い鳥の名には「瑠璃」が多い。

オオルリ、コルリ、ルリビタキ、ルリカケス、ルリコンゴウインコ、など。

プリンタのインクの青は「シアン」="cyan"だが、オオルリは学名に

2回も"cyan"が出てくるほど、「青い鳥」の代表と言っていい。



オオルリとコルリは色合いが似ているが、生物学的には少し違う仲間、コルリはむしろルリビタキに近い。

オオルリの羽に青い色素はない。「構造色」と呼ばれ、光の角度によって青く見えるつくりになっている。

オオルリの青い羽は角度により黒っぽく見えるのはそのため。メジロの黄緑など「構造色」の鳥は多い。

旭山の夏鳥で一番人気のオオルリは春に東南アジアから渡来し、日本列島を少しずつ北へ移動する。今年は3月28日に九州で初めて観察された。旭山では毎年5月になると現れる。2019年は5月1日「初見」。

およそひと月かけて、桜前線ならぬ「オオルリ前線」が北上する。春が毎年楽しみなわけだ。

夏に翼の風切り羽だけが青い幼鳥が見られ、9月中頃に南に渡って行く。

5月の野鳥トピックス

野鳥についての詳しい情報はホームページの野鳥情報をご覧いただけます。

★ミヤマホオジロ=4月上旬に数日間滞在していました(写真右)。



★ルリビタキ=今年は4/10初認。2日で見られなくなりましたが、4月20日に第2陣がやって来て、数日間は10分歩けば必ず見られるほどたくさんいました。

★ヤマシギ=4/27、散乱した羽が発見されました(写真下)。オオタカに捕食されたものと思われ、近くにオオタカの羽も落ちていました。

★シマエナガ=双子沢川沿いでしばしば見られます。

★クマゲラ=4月後半から観察機会が減りました。

★ヤマゲラ=4月以降はほぼ毎日園内で姿が見られ、森の家に続く道で見やすい場所に来ることがあります。

★コサメビタキ=毎年いつの間にかいる鳥ですが、今年は5/5「初見」でした。



ヒメマイマイを探そう！

北海道には3種類のかたつむり=マイマイが生息しています。

最も多いのが大きいエゾマイマイ、殻の色が黄褐色(黄)、茶褐色(赤)、縞、と3つあって違う種のように見えますが、同じ種類です。

殻の縞模様と体の黒い筋が特徴のサッポロマイマイもよく見られます。

しかしもう1つ、ヒメマイマイはまだ旭山では記録がありません。

殻の平たいヒメマイマイは円山にはいるそうですが、旭山にもいるのか？

見つけた方は森の家までぜひご一報ください！

ヒメマイマイ →
殻に縞がないタイプ。
縞があるタイプ
もいる。3種でいち
ばん小さい。



編集後記

先日、東京から野鳥観察に来たという4人組の男性が森の家にきました。

その方々はクマゲラやアカゲラが見たいといい、どの辺に出るか話しました。

しかし、そこにメジロがいますよというと、まったく関心を示しませんでした。

メジロは東京に多いのですが、同じ鳥でもところにより見方が違うものですね。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第68号 2019(令和元)年5月5日発行

発行：(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所：〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先 電話 011-200-0311 (土・日・祝日10時~16時) FAX 011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>